

○ 主文
一 本件控訴を棄却する。
二 控訴費用は、控訴人の負担とする。

○ 事実
第一 当事者の求めた裁判
一 控訴の趣旨
1 原判決を取り消す。
2 本件を広島地方裁判所に差し戻す。
3 訴訟費用は、第一、二審とも被控訴人の負担とする。
二 控訴の趣旨に対する答弁
主文と同旨
第二 当事者の主張
原判決の事実摘示のとおりであるから、これを引用する。
第三 証拠（省略）

○ 理由
一 当裁判所も、控訴人の本件訴えはこれを却下すべきものと判断するが、その理由は、原判決六枚目表五行目の「争いがない」の後に「（なお、成立に争いのない乙第一号証によれば、原判決の別紙物件目録記載三の土地は、平成六年一月一八日、同月一四日付け代物弁済を原因としてAに所有権移転登記が経由されていることが認められ、同土地を控訴人が所有していることを認めるに足る証拠はない。）」と付加するほかは、原判決の理由説示のとおりであるから、これを引用する。
二 よって、原判決は正当であって、本件控訴は理由がないからこれを棄却することとし、控訴費用の負担について、行政事件訴訟法七条、民事訴訟法九五条、八九条を適用して、主文のとおり判決する。
（裁判官 西川賢二 渡邊了造 亀田廣美）